

# スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の防除に

# 国産石灰窒素!!



## ■石灰窒素の働き

- ◎国産石灰窒素は、水田のスクミリンゴガイ防除に効果が認められており、農薬登録を受けています。
- ◎石灰窒素の主成分カルシウムシアナミドは、水中でシアナミドに分解し、殺貝効果を発揮します。
- ◎防除時期は、田植え前、稲刈り後です。いずれの時期においても、湛水することで土中に生息するスクミリンゴガイを水中におびき寄せ、水中に溶け込んだシアナミドで駆除することができます。

## 国産石灰窒素のスクミリンゴガイの農薬登録適用範囲が拡大しました!

### ■農薬登録適用範囲の変更内容

- ◎荒起し後に石灰窒素(30kg/10a)を散布してから湛水する方法ができるようになりました!

[変更後]

作物名	適用場所	適用病害虫(雑草)名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	石灰窒素を含む農薬の総使用回数
水稻	-	スクミリンゴガイ	30kg/10a	植代前	1回	散布。荒起し後全面に散布、3~4cmに湛水し、3~4日放置後植代を行う。(漏水を防止すること)	-
			20~30kg/10a			散布。荒起し後3~4cmに湛水し、3~4日後全面に散布、3~4日放置後植代を行う。(漏水を防止すること)	
				刈取後(水温15℃以上の時期)		散布。3~4cmに湛水し、1~4日後全面に散布、3~4日放置する。(漏水を防止すること)	

### 【試験事例】

#### ①春施用(植代前湛水後散布)

石灰窒素散布後の死貝率(1997年)

	採取貝数(個)	死貝数(個)	死貝率(%)
石灰窒素区	122	122	100

石灰窒素散布後の死貝率(1998年)

	採取貝数(個)	死貝数(個)	死貝率(%)
石灰窒素区	209	180	86.1

実施機関: 愛媛県松山市堀江農協、愛媛県病害虫防除所、1997~1998年、現地圃場9a

試験概要: 1997年6月7日に石灰窒素を20kg/10a散布、6月10日に田植えを行い、田植え1日前に貝を採取し調査した。  
1998年6月7日に石灰窒素を20kg/10a散布、6月9日に田植えを行い、田植え1日前に貝を採取し調査した。

#### ②秋施用(刈取後)

石灰窒素散布前後の貝密度(2018年秋)

	貝密度(頭/m <sup>2</sup> )		低下率(%)
	散布前	散布後	
圃場A	98.7	1.3	99

翌年の貝密度と水稻欠株率(2019年春)

	貝密度(頭/m <sup>2</sup> )	欠株率(%)
圃場A	0.0	2

実施機関: 千葉県山武農業事務所(千葉県東金市)、2018~2019年、現地圃場(砂壤土)

試験概要: 稲収穫後、降雨を利用して圃場が湛水した後に、石灰窒素を30kg/10a散布した。

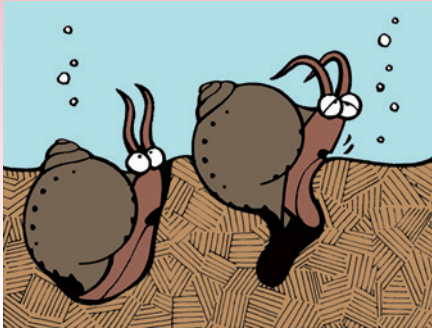
### 基肥の窒素施肥量の調整

- 石灰窒素20~30kg/10a散布は、窒素4~6kg/10aに相当します。基肥の窒素施肥量は、この量に応じて減肥してください。リン酸、カリについては、施肥基準に合わせて別途施用してください。
- 詳細につきましては、弊会のホームページへアクセスしてください。  
スクミリンゴガイ防除関連の試験事例やYouTube動画などがご覧になれます。



# 石灰窒素の使い方

## ■田植え前防除のとき(春施用) ●20～30kg/10a



### ①荒起し・湛水

荒起し後3～4cm湛水し、3～4日水深を維持してください。

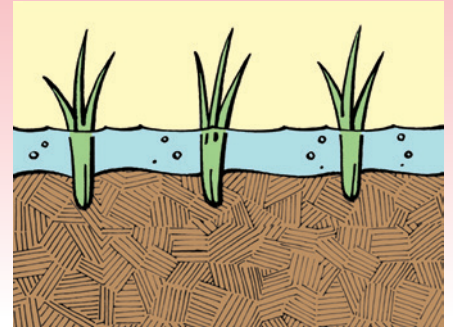
\*水温15℃以上の時期に行ってください。

\*漏水田では、漏水を防止するため、荒代かき後に湛水・石灰窒素散布を行ってください。



### ②石灰窒素の散布

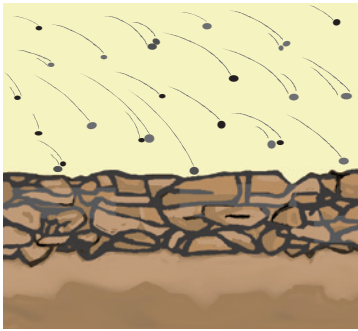
湛水に石灰窒素を全面に散布し、3～4日放置してください。



### ③代かき・田植え

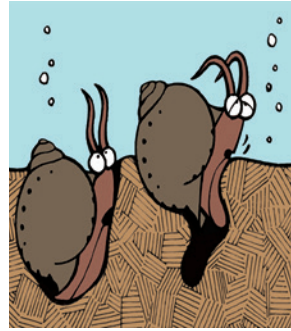
植代を行った後、2～3日以降に田植えをします。

## ●30kg/10a (簡便法) →使用方法の適用範囲が拡大しました!



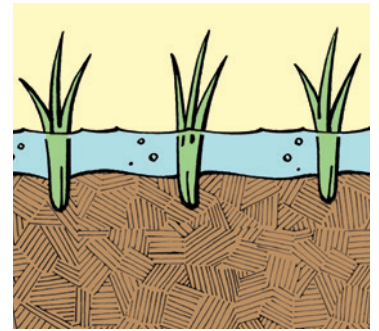
### ①荒起し・石灰窒素の散布

荒起し後、土壌に石灰窒素を全面に散布してください。



### ②直ぐに湛水

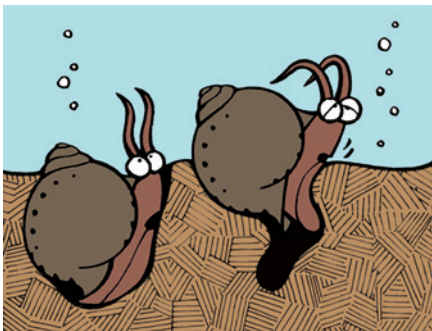
3～4cm湛水し、3～4日放置してください。



### ③代かき・田植え

植代を行った後、2～3日以降に田植えをします。

## ■稲刈り後防除のとき(秋施用) ●20～30kg/10a



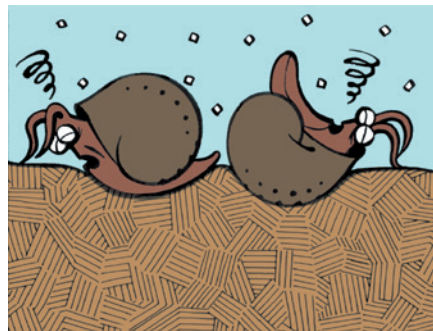
### ①湛水

稲刈り後、3～4cm湛水し、1～4日放置してください。

\*水温15℃以上の時期に行ってください。

\*漏水田では、漏水を防止するため、軽く代かき後に湛水・石灰窒素散布を行ってください。

\*秋施用で、圃場に稲わらがある場合は、自然落水後に、稲わらをすき込んでください。石灰窒素は稲わら腐熟に役立ちます。



### ②石灰窒素の散布

湛水に石灰窒素を全面に散布し、3～4日放置してください。



### ③落水

自然落水を待ちます。

■注意事項 ・石灰窒素は魚毒性があります。水田だけに施用してください。 ・降雨前の施用は避け、田面水があふれ出ないようにしてください。

## 日本石灰窒素工業会

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3-4 TEL.03-5207-5841 FAX.03-5207-5843 <https://www.cacn.jp>